

(様式1)

平成29年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 080	提案機関名 公益財団法人 相模湾水産振興事業団
要望問題名 蓄養型定置網開発研究について	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等）】 ○ 相模湾の漁獲物の約7割を占め、相模湾漁業の基幹漁業となっている定置網漁業は、近年、魚価の下落により、経営が圧迫されている。 ○ そのため、魚価安定対策として、漁獲物を市場へ安定的に供給したり、市場の価格動向を見て出荷調整したり、また、魚の品質を管理する等の目的から蓄養出荷が求められている。 ○ このようなことから、地域の漁業拠点となっている「小田原漁港」では、本格的な蓄養水面の建設が進んでおり、平成24年度からは、蓄養試験の実施されている。 ○ そこで、この蓄養水面を活用した、「漁獲物の安定出荷」をより円滑に実施するため、魚の供給元である各地先の定置網に生簀網等を備え、一時的に魚をストックし、これを計画的に蓄養生簀に供給する「安定出荷型定置網」の開発研究を要望します。	
解決希望年限	①1年以内 ②2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター ②畜産技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	水産技術センター	担当部所	相模湾試験場
対応区分	①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合) 定置網漁業安定出荷試験（漁業活性化促進事業）		
対応の内容等	安定出荷については、これまで定置網漁業活性化支援事業において研究を行ってきましたが、平成28年度からは漁業活性化促進事業の中で研究を引き続き実施していきます。平成28年3月には小田原市漁協の米神漁場の定置網も安定出荷型定置へと更新されました。今後、小田原市漁協が行う漁獲物の短期蓄養、出荷調整等の取組を支援するとともに、この成果を他の定置網漁場にも反映させてまいります。		
解決予定年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			